

授業科目名	海洋AIワークショップ I		
開講学科・専攻	博士前期課程（共通）（共通）		
科目区分・専攻分野	研究科共通科目、他専攻開講科目		
対象学年	1年	クラス	10
単位区分	選	単位数	1単位
開講学期	通年	授業形態	博士前◆研究科共通
曜日・時限	集中	講義室	
担当教員	兵藤 哲朗		
担当教員	兵藤 哲朗、木野 亨		
授業のねらい(目標・内容・方法)	<p>少子高齢化の進展を背景に、海洋産業へのAI導入による持続的な産業基盤の確立に向けた改革や新産業の創出が期待されている。それを達成するためのプロジェクトでは様々な専門分野の研究者がそれぞれの知識を生かして議論し、解決策を立案、検証することが重要である。本講義では、海洋AIコンソーシアムからの講師が多様な海洋分野でのAI活用事例の紹介と討論のテーマを提示してワールドカフェ方式によるワークショップ形式での討論を行う。本ワークショップを通して専門分野以外の最新情報の修得、異分野の研究者とのコミュニケーション力、自身の専門分野にとどまらず広い視点から海洋諸問題をとらえる俯瞰力を養うことを目的とする。</p>		
到達目標	<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目標とする。</p> <p>①専門分野外のAI研究の進展や問題点を理解し、海洋分野における社会課題に対する俯瞰的な知見を深める。</p> <p>②自己の専門分野外の研究者と解決に向けたアイデアを理解し合い共創できるコミュニケーション力を身につける。</p>		
授業実施形態	<p>対面・遠隔(リアルタイム)の併用</p> <p>注)「併用」は、対面授業のリアルタイム同時配信、授業毎毎に対面/遠隔授業を実施、またはこれら両方の併用、いずれの場合も含まれます。</p>		
授業の計画	<p>第1回 AI実装プロジェクトのライフサイクル(講義)</p> <p>第2回～第13回</p> <p>・テーマの背景説明、提示(105分/回/テーマ)</p> <p>・ワールドカフェ方式によるグループ討議(105分/回/テーマ)</p> <p>第15回 まとめ・気づき</p> <p>開講時期: 10月～12月</p> <p>※開講予定日(各回4.5時限 14:55-18:35)</p> <p>第1回 2024/10/10(木)</p> <p>第2, 3回 2024/10/17(木)</p> <p>第4, 5回 2024/10/24(木)</p> <p>第6, 7回 2024/10/31(木)</p> <p>第8, 9回 2024/11/7(木)</p> <p>第10, 11回 2024/11/14(木)</p> <p>第12, 13回 2024/11/21(木)</p> <p>予備日 2024/11/28(木)</p> <p>予備日 2024/12/5(木)</p>		
履修要件	前期課程プログラム必修科目の「人工知能と機械学習」「深層学習」を履修済み(履修中含む)であること。		
テキスト・教材・参考書 等	必要に応じて紹介する。		
予習・復習	各講師のテーマ分野については、事前(2週間前を目途)に通知するので、ネットなどで関連項目を予習・復習することが望ましい。		
成績評価の方法	毎回の討論への参加状況を評価する。		
成績評価の基準	討論への参加状況(30点)、討論時は①テーマに沿った意見の提示がなされたか(40点)、②論理的に第三者に理解しやすい説明ができたか(15点)、③相手の意見を理解しようとする傾聴していたか(15点)を評価し、合計60点以上を合格とする。		
教員との連絡方法或いはオフィスアワー	Live Campus および Teams(授業専用のチームを設定)		
その他履修上の注意	<p>先端の研究内容が含まれるので授業参加者は授業の内容についての守秘義務を負う。</p> <p>履修希望者が多数の場合、卓越大学院プログラム履修学生を優先することがあります。(履修要件を満たしても必ず履修できるとは限りません。)</p>		
URL(詳細ページへのリンク)			
ナンバリングコード			
使用言語	日本語 および 英語		
学習時間	<p>①授業時間: 30時間</p> <p>②研究室活動: 時間</p> <p>③予習: 10時間</p> <p>④復習: 5時間</p> <p>⑤プレゼン準備: 時間</p> <p>⑥試験準備(レポート作成を含む): 時間</p> <p>⑦教員との討議: 時間</p> <p>⑧関連するセミナーへの参加: 時間</p> <p>⑨他の研究室活動: 時間</p> <p>⑩総学習時間: 45時間</p>		
ディプロマポリシーとの関連	<p>(1)研究課題の社会的背景、学術的意義、応用価値を把握し、研究を適切に推進できる能力: ○</p> <p>(2)基礎科学と応用科学に関連する幅広い専門知識: ◎</p> <p>(3)研究成果を論理的に説明する能力、学術研究における倫理性: ◎</p>		
SDGs(持続可能な開発目標)との関係	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>14 海の豊かさを守ろう</p>		